

菊川市誕生10周年

菊川市10年の まちづくり

～10年間に実施した合併関連のハード事業～



はじめに

平成17年1月17日に小笠町と菊川町が合併し、菊川市が誕生してから10年が経過しました。この10年間、皆様のご理解とご協力をいただき、「新市まちづくり計画」や市の最上位計画である「第一次総合計画」に基づき、まちづくりを進めてまいりました。この冊子は、これまでに実施した主要なハード事業を、新市まちづくり計画に定める事業項目から抜粋して紹介したものです。今後も目標としている将来像「みどり次世代 人と緑・産業が未来を育むまち」の実現に向け、引き続き選択と集中による計画的な事業の推進に努めます。

もくじ

●菊川市立総合病院の充実	1
●子育て支援センターの充実	1
●放課後児童クラブの整備	2
●幼稚園・保育園の整備	3
●学校施設の整備	4
●文化財の保護及び活用・啓発の推進	5
●生涯スポーツの推進	5
●地域コミュニティセンター活動の推進	6
●上水道事業	6
●生活排水処理対策事業	6
●農業総合整備事業	7
●観光の振興	7
●JR菊川駅周辺地区の整備	7
●道路整備事業	8
●地域内公共交通の整備	8
●防災無線の整備	9
●消防・救急体制の整備	9
●防災拠点施設の整備	9

◆記載内容について

- ・対象期間は、平成17年1月17日～平成27年3月31日です。
- ・合併前から実施している事業又は平成27年度以降も実施する事業については、事業開始時から事業終了時を対象としています。
(ただし、「上水道管の整備」「公共下水道の整備」につきましては、10年間分の事業費となっています)
- ・補助金や起債などの特定財源を含めた全体の事業費を記載しています。
- ・事業費の横の記号については、以下に該当するものです。
 - *…平成26年10月現在、事業が未完了（平成26年度中又は平成27年度以降に完了）のため、見込事業費を記載しています。
 - ★…合併前からの事業費を含めて記載しています。

●菊川市立総合病院の充実

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
家庭医療センター (あかっちクリニック)の 整備	静岡家庭医養成プログラムの拠点施設として、小笠保健センターを改修し、電子カルテや全自動免疫・生化学統合システム、一般撮影X線装置などの医療機器を整備した。 (平成22年度～平成23年度)	241,765
精神科病棟の改築	増加するうつ病患者の療養環境を整えるため、4床室6部屋を11室の個室に改修した。 (平成21年度～平成22年度)	32,233
回復期リハビリテーション 病棟の整備	手術などの急性期の治療が終了した患者が早期に在宅復帰できるように、3階西病棟を回復期リハビリテーション病棟に改修した。 (平成21年度)	16,695
院内保育所 「さくらんぼ保育室」の 整備	人材確保対策として、子どもを育てている医師や看護師などの多様な働き方を支援するため、院内に保育室を整備した。 木造・平屋建・延床面積 121.73㎡ (平成20年度)	27,762

安心・安全な医療を提供するため、家庭医療センターの整備や精神科病棟及び回復期病棟の改修等を行い、病院機能を強化しました。また、職員が安心して勤務に従事することができるよう、病院敷地内に院内保育所を設置しました。

●子育て支援センターの充実

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
小笠児童館の移転新築	旧小笠保健センター（赤土地内）内にあった小笠児童館を一旦小笠支所東館2階へ移転させ、その後中央公民館敷地内（下平川地区）に独立した建物を建設し移転した。移転後の小笠児童館の開館は平成24年4月。 敷地面積 13,054㎡、鉄筋コンクリート一部木造平屋建 延床面積 440㎡ (平成22年度～平成23年度)	112,668

小笠児童館が設置されていた保健福祉センターを家庭医療センターに改築したため、中央公民館敷地内に新たに建築しました。児童館内に子育て支援センターを設置し、相談業務等の充実も図りました。



あかっちクリニック



小笠児童館

放課後児童クラブの整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
河城小放課後児童クラブの整備	木造1階 延床面積 92.7㎡ (平成20年度)	17,705
六郷小放課後児童クラブの整備	1部屋→2部屋に拡張 (平成19年度)	3,543
堀之内小放課後児童クラブの整備	校舎1階生活科室87㎡を放課後児童クラブ室に改修 (平成21年度)	10,906
横地小放課後児童クラブの整備	校舎建築時に1階に97㎡の放課後児童クラブ室を整備(備品購入費のみ。工事費等は横地小増築校舎整備の事業費に含めて記載。) (平成21年度～平成23年度)	353
内田小放課後児童クラブの整備	校舎1階普通教室62㎡を放課後児童クラブ室に改修 (平成21年度)	8,117
小笠北小放課後児童クラブの整備	校舎1階多目的室176㎡を放課後児童クラブ室に改修 (平成23年度～平成24年度)	14,091
小笠南小放課後児童クラブの整備	校舎1階図工室88㎡を放課後児童クラブ室に改修 (平成21年度)	6,180
小笠東小放課後児童クラブの整備	鉄骨造1階 延床面積 569㎡ (新規での備品購入無し。工事費等は小笠東小体育館整備の事業費に含めて記載。) (平成20年度)	—
菊川中央放課後児童クラブの整備	木造1階 延床面積 125.0㎡ (平成17年度)	24,705

合併時、小学校9校に対し放課後児童クラブは5か所の開設でした。合併後はすべての小学校に開設することをめざし、平成24年度にはすべての小学校の整備が完了しました。



横地小放課後児童クラブ



菊川中央放課後児童クラブ

幼稚園・保育園の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
おおぞら幼保園の整備	鉄骨造平屋建 延床面積 2,457.3㎡ 加茂幼稚園と内田保育園を統廃合し、新しく幼保一体施設として、平成26年4月に開園。 (平成25年度)	842,318
愛育保育園整備の助成	鉄骨造3階建 延床面積 1,048.20㎡ 新園舎建築の整備助成 (平成20年度～平成21年度)	126,537
双葉保育園整備の助成	鉄骨造2階建 延床面積 1,896.31㎡ 新園舎建築の整備助成 (平成25年度～平成26年度)	145,924*
小笠北幼稚園耐震補強工事の実施	管理、保育室棟1階建986㎡の鉄骨による耐震補強 (平成17年度～平成18年度)	49,699
横地保育園耐震補強工事の助成	園舎耐震補強工事の助成 鉄骨造平屋建 (平成20年度)	37,878
西方保育園耐震補強工事の助成	園舎耐震補強工事の助成 鉄骨造平屋建 (平成19年度)	25,416
菊川保育園耐震補強工事の助成	園舎耐震補強工事の助成 鉄骨造2階建 (平成22年度)	61,120
河城保育園耐震補強工事の助成	園舎耐震補強工事の助成 鉄骨造平屋建 (平成19年度)	47,398
みなみ保育園大規模修繕の助成	外部トイレ設置工事の助成 鉄骨造平屋建 592.10㎡ (平成26年度)	8,302*
ひかり保育園大規模修繕の助成	屋根修繕の工事助成 鉄骨造平屋建 延床面積 687.88㎡ (平成23年度)	27,792

平成22年に市内すべての幼稚園、保育園の耐震補強工事が完了しました。また、愛育保育園と双葉保育園は全面改築、加茂幼稚園と内田保育園は幼保一体施設おおぞら幼保園として整備し、開園しました。



おおぞら幼保園

●学校施設の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
加茂小学校校舎の増築	職員室、家庭科室等鉄骨造2階建630㎡の増築 (平成16年度～平成18年度)	104,538
横地小学校校舎の増築	図工室、多目的室等鉄骨造2階建479㎡の増築(面積は放課後児童クラブを含まない) (平成21年度～平成23年度)	158,587
小笠北小学校体育館の整備	鉄骨造1階建て1,032㎡を整備(アリーナ部770㎡) (平成17年度～平成19年度)	241,333
小笠東小学校体育館の整備	鉄骨造1階建て876㎡を整備(アリーナ部694㎡) (地区センター(くすりん)の工事費は含まない) (平成17年度～平成21年度)	271,505
小笠南小学校体育館の整備	鉄骨造1階建て894㎡を整備(アリーナ部696㎡) (平成19年度～平成22年度)	227,406
堀之内小学校体育館の整備	鉄骨造1階建て919㎡を整備(アリーナ部696㎡) (平成21年度～平成22年度)	226,810
加茂小学校体育館の耐震補強及び改修	鉄筋コンクリート造2階建773㎡の鉄骨張り及び耐力壁への改修による耐震改修並びにトイレ及び照明器具等の大規模改修実施 (平成24年度～平成25年度)	62,767
六郷小学校校地拡張事業	六郷小学校校地拡張に伴う道路築造工事 道路幅員6m×100m及び道路幅員5m×180m (平成21年度～平成27年度)	135,156*
六郷小学校プールの整備	全体面積32.5m×36.6m 大プール25m×15m 小プール15m×8m 附属棟(更衣室・機械室等)135㎡ (平成22年度～平成26年度)	191,872*
岳洋中学校体育館の整備	鉄骨造1階建て1,337㎡を整備(アリーナ部960㎡) (平成17年度)	280,088
岳洋中学校プール更衣室の整備	木造1階建て177㎡を整備 更衣室棟27.9m×5.4m 倉庫棟4.8m×5.4m (平成23年度～平成24年度)	35,218
菊川西中学校プールの整備	全体面積31.7m×33.0m 大プール25m×17m 更衣室棟89㎡ 機械棟47㎡ (平成19年度～平成22年度)	175,474
菊川西中学校テニスコートの整備	校舎西側にテニスコート6面を整備 (平成19年度～平成22年度)	48,127
菊川給食センターの改築	小笠学校給食センターを廃止し、菊川給食センターへ統合させるため増築工事及び厨房機器改修工事等を実施 (平成21年度)	183,872

小中学校施設の耐力度不足及び経年老朽化、教室不足等に対応するため、計画的に耐震補強、増改築等を実施し、教育環境の充実向上を図りました。また、小笠給食センターと菊川給食センターの統合に伴い、菊川給食センターの増築等を実施しました。

●文化財の保護及び活用・啓発の推進

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
埋蔵文化財センターの整備	旧小笠学校給食センターを改修し展示室を有する埋蔵文化財センター「どきどき」の整備を行った。 作業室 70.96㎡、収蔵庫 492.92㎡、展示室 41.40㎡、管理室 34.21㎡ (平成25年度)	32,471

旧小笠給食センターを埋蔵文化財センターに改築し、埋蔵文化財の出土品の展示・活用を図りました。

●生涯スポーツの推進

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
人工芝多目的グラウンドの整備(炭焼き さわやか 菊川グラウンド)	菊川運動公園の多目的グラウンドを人工芝へ改修した。ロングパイル人工芝 7,630㎡、砂入り人工芝 809㎡、一般用サッカーフィールドライン 713m、ジュニア用サッカーフィールドライン 622m (平成23年度)	98,761
和田公園テニスコートの人工芝張替	本施設は市営テニスコートのうちもっとも利用率の高いコートであり、長年の使用により劣化した人工芝の全面張替えを設置以来初めて行った。 砂入り人工芝張替え 2面 1,329㎡ ネットポスト取替え 2組 (平成25年度)	11,199

菊川運動公園人工芝多目的グラウンドの整備や和田公園テニスコートの人工芝張替など、スポーツ施設の整備を実施し、生涯スポーツの推進を図りました。



小笠南小学校体育館



堀之内小学校体育館



加茂小学校(増築)



埋蔵文化財センター「どきどき」

●地域コミュニティセンター活動の推進

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
平川コミュニティ防災センター(ひらかわ会館)の整備	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 476.01㎡ (平成17年度)	138,486
嶺田地区コミュニティセンター(みねだ会館)の整備	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 490㎡ (平成21年度)	170,000
小笠南地区コミュニティセンター(みなみやま会館)の整備	鉄筋コンクリート造1階 延床面積 477㎡ (平成20年度)	222,620
小笠東地区コミュニティセンター(くすりん)の整備	鉄骨造1階 延床面積 569㎡ (平成20年度)	143,710

コミュニティを核としたまちづくりの中核的施設として、小笠地区にコミュニティセンターを整備しました。これですべての地区にコミュニティセンターが整備されました。

●上水道事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
丹野配水池の建設	地震対策の強化を図り、小笠地区への安定供給を推進した。 配水池(SUS製) 1,750㎡×2池 (平成20年度)	410,081
上水道管の整備	計画的な管路整備と改良工事を行うとともに、耐震性に優れた管及び継手を使用し、耐震性の強化を実施した。	2,818,981*

上水道については計画的に管路整備と改良工事を行い、また、丹野地内に新規配水池を築造し、水の安定供給を推進しました。

●生活排水処理対策事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
公共下水道の整備	下水道管の整備及び菊川浄化センターの増設を実施した。 管渠整備延長 45.0km、供用開始面積 278.3ha 水処理施設増設(1池)	6,707,153*

公共下事業については供用開始後も着実に整備を進め、現在は第3期計画に基づいた面整備を実施し、水質浄化を推進しています。



みなみやま会館



菊川浄化センター

●農業総合整備事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
池村地区基盤整備事業	県内初の地下水位制御システム（フォアス）を導入し、農地の高度利用を図った。 ①区画整理工A=21.1ha、 ②担い手経営農地A=17.3ha（H26.3末） ③暗渠排水工A=21.1ha（うちシステム導入A=5.2ha） （平成19年度～平成24年度）	293,000

池村地区の区画を大規模化するとともに、道路や水路の整備を併せて行うことにより生産性の高い農地を確保し、担い手への農地集積、経営の規模拡大を図りました。

●観光の振興

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
小菊荘リニューアル事業	RC（鉄筋コンクリート）構造、S（鉄骨）構造 2階建 延床面積 1,245.15㎡ （平成18年度～平成20年度）	170,573

耐震性向上のため小菊荘の改装事業を実施しました。平成22年度から指定管理者制度を導入し、管理者による季節に応じたイベントが開催されるなど交流人口の増加と情報発信に努めています。

●JR 菊川駅周辺地区の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
市営駅前駐車場の整備	J R菊川駅周辺の駐車場不足の解消を図るため、駅前に市営駐車場を整備した。 面積 546㎡、19台駐車可能 （平成17年度）	4,654
菊川駅南土地区画整理事業	市の玄関口としてふさわしい健全な市街地の形成を図り、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進、並びに商業活動の活性化を促進する目的で実施した。 施工面積 13.6ha （昭和60年度～平成24年度）	15,811,758*
駅北口に市有地を確保	駅北地区の民間開発と連携し、将来駅北口開設を考慮し、駅北に市有地を確保した。 用地取得面積 3,161.22㎡ （平成26年度）	124,315

菊川駅南土地区画整理事業が平成24年度に完了し、市の玄関口としてふさわしい健全な市街地の形成を図りました。また、将来の駅北口開設を考慮し検討するため、駅北に市有地を確保しました。



小菊荘



菊川駅前広場

●道路整備事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
掛川浜岡線バイパス 奈良野下平川線の整備	主要地方道掛川浜岡線の奈良野地区から下平川地区を結び、延長780m、幅員16～17mの都市計画道路を整備し、菊川市の南北を結ぶ主要幹線道路として整備を図った。 (平成17年度～平成25年度)	2,070,933
掛川浜岡線バイパス 赤土高橋線の整備	赤土地区から高橋地区を結び、延長1,100m、幅員16～17mの都市計画道路として、平成20年度に着手し、菊川市の主要幹線道路として施工している。 (平成20年度～平成30年度予定)	約1,733,000*
朝日線(JRアンダーパス) の整備	(都) 菊川駅前通り線(主要地方道吉田大東線)と(都) 柳坪線を結び、延長約320m、幅員16～18.5mの都市計画道路を整備し、南北の既成市街地を一体化し、潮海寺踏切の渋滞緩和と安全で快適な交通形態を図った。 (平成7年度～平成24年度)	4,556,712*
赤土嶺田線の整備	赤土地内の掛川浜岡線バイパスと(主) 掛川浜岡線交差点を結び延長625.8m、幅員16～17mの都市計画道路を整備し、安全で快適な交通形態を図る。 (平成21年度～平成27年度予定)	約672,000*
嶺田川上線の整備	赤土地内の掛川浜岡線バイパス交差点から市道五丁棚草線を結び、延長193m、幅員12.85mの幹線道路を整備し、掛川浜岡線バイパスと円滑な交通形態を図る。 (平成24年度～平成26年度)	約96,000*
三沢本線の整備	三沢地内から下平川地内を結び、延長523m、幅員7mの幹線道路を整備し、安全で快適な交通形態を図った。 (平成17年度～平成20年度)	111,787

市内外を結ぶ幹線道路の整備や地域間、集落間を結ぶ生活道路の整備を計画的に実施し、交通渋滞の解消及び安全で快適な交通形態を図りました。

●地域内公共交通の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
コミュニティバスの運行	平成17・18年度にコミュニティバスの実証実験を行い、平成19年度から本格運行を開始し、市内7路線の運行により高齢者等の移動の利便性向上を図った。	351,666*

高齢者など平日昼間の移手段を持たない方を対象とし、特に路線バスが運行していない公共交通の空白地域を中心に、医療機関・商業施設・公共施設などへの交通手段としてコミュニティバスを運行しました。



朝日線 JR アンダーパス



コミュニティバス

●防災無線の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
同報無線の統合	旧小笠町・旧菊川町で2系統となっている同報無線の操作卓について、デジタル化を見据え、市民に迅速かつ確実に情報を提供するため統合整備を実施した。 (平成22年度)	32,952
同報無線のデジタル化	同報無線設備をアナログ波からデジタル波に移行し、市民への迅速な情報伝達を図る。 基地局 1局 再送信子局 2局 屋外子局 120局 (平成26年度～平成27年度)	416,595*

各種災害に関する情報を市民に迅速かつ確実に提供するため、同報無線の操作機器の整備及び基地局、屋外子局等のデジタル化を実施しました。

●消防・救急体制の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
消防庁舎の移転新築	庁舎棟：鉄筋コンクリート造2階建、延床面積 2,719.21㎡ 訓練棟：鉄骨造3階建、延床面積 167.81㎡ (平成22年度～平成25年度)	963,129
消防指令の広域化	中東遠地域5市1町による消防指令の共同整備共同運用事業を実施した。 (平成23年度)	176,186
消防無線のデジタル化	中東遠地域5消防本部による消防救急デジタル無線の共同整備事業を実施 平成28年4月1日運用開始予定 (平成26年度～平成27年度)	66,988*

消防体制の充実強化を図るため、消防防災活動拠点となる消防庁舎を東横地内へ移転しました。

●防災拠点施設の整備

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
大型防災倉庫の整備	備蓄用食料、防災資機材、緊急支援物資等を保管する大型防災倉庫を整備した。 延床面積 400㎡ 鉄骨造 平屋建 (平成25年度)	51,030
ヘリポート・多目的広場の整備	災害時緊急支援物資の輸送などのためのヘリポート場とし、平常時には、防災活動の場として活用できるよう整備 舗装面積 5,600㎡ 離着陸帯 700㎡ (平成26年度)	34,344*

新消防庁舎の敷地内に大型防災倉庫とヘリポートを整備し、災害時に食料や物資等の輸送、保管及び供給等の対応ができる体制を整えました。



消防庁舎



大型防災倉庫



菊川市マスコットキャラクター
きくのん



編集・発行 菊川市企画財政部
〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地
Tel:0537-35-0953

平成27年1月発行